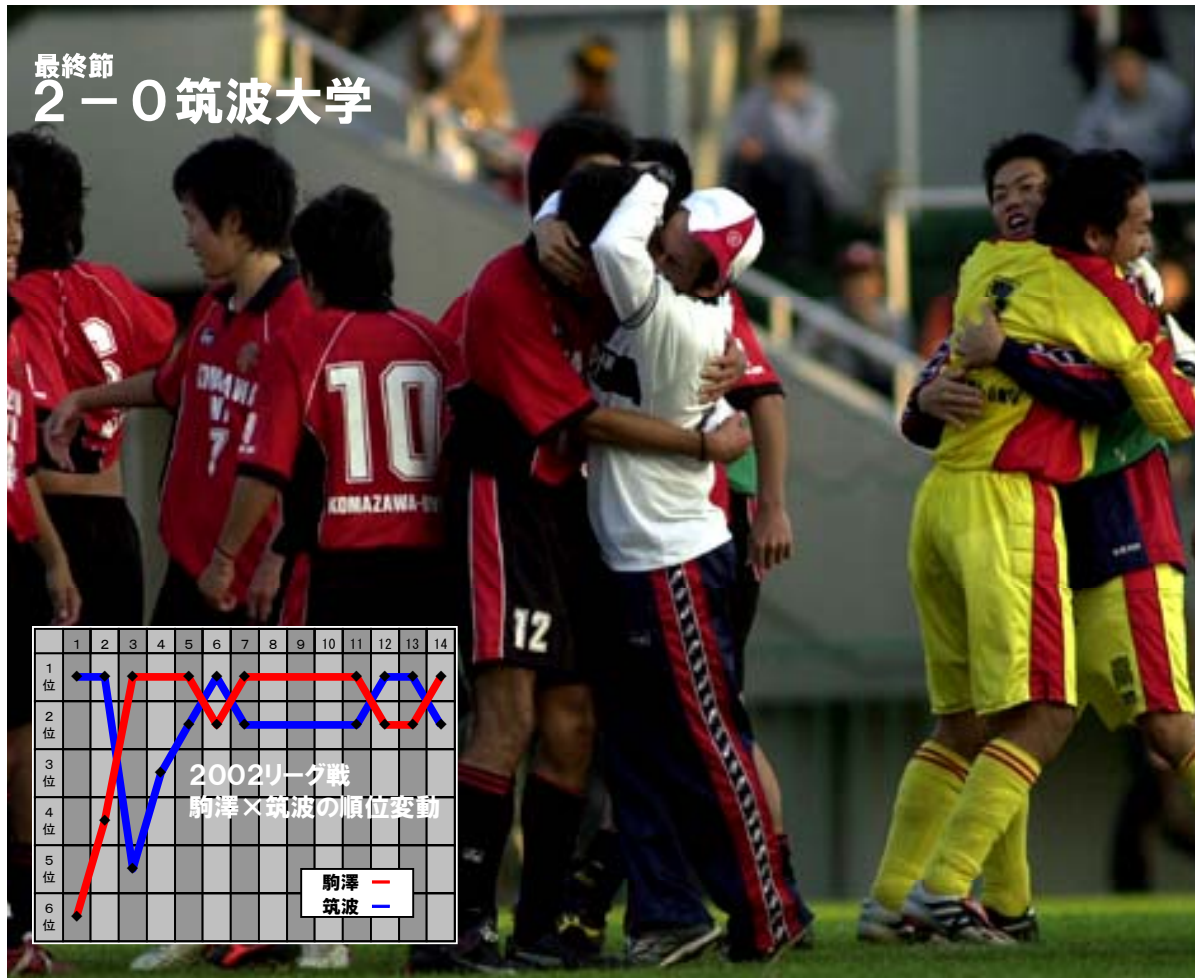


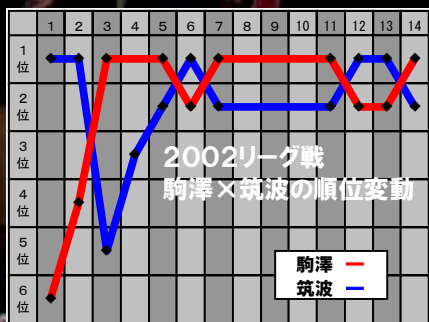
# 関東大学1部リーグ戦

PHOTO●岩田陽一

最終節  
2-0 筑波大学



# 悲願の初優勝 最終節の直接対決制し



## 全試合結果

- <前期>  
 ★1-2 東京学芸大学  
 【得】中田 (深井)  
 ☆5-1 青山学院大学  
 【得】松田 (中後)、巻、巻 (PK)、増富、橋本 (増富)  
 ☆3-2 慶應義塾大学  
 【得】巻、巻 (橋本)、巻 (赤嶺)  
 ☆8-1 亜細亜大学  
 【得】深井 (巻)、中田 (深井)、小林亮 (中田)、深井、深井、中田 (巻)、中田 (佐々木)、中田  
 ☆4-1 国士館大学  
 【得】巻 (深井)、巻 (橋本)、赤嶺 (深井)、赤嶺 (中田)  
 ★2-3 筑波大学  
 【得】中後、深井 (中田)  
 ☆3-0 順天堂大学  
 【得】橋本、巻 (小林亮)、深井 (中後)  
 <後期>  
 ☆6-0 順天堂大学  
 【得】橋本 (中後)、増富 (深井)、松田 (中後)、深井、中田、巻 (中後)  
 ☆4-1 青山学院大学  
 【得】橋本 (中田)、深井、橋本 (巻)、深井 (中田)  
 ★2-3 亜細亜大学  
 【得】巻 (中田)、深井  
 ☆2-1 慶應義塾大学  
 【得】橋本 (中後)、深井 (巻)  
 ★3-4 東京学芸大学  
 【得】巻 (PK)、巻 (中後)、深井  
 △1-1 国士館大学  
 【得】深井  
 ☆2-0 筑波大学  
 【得】田中、橋本 (増富)



最終節で鮮やかなドリブル突破から2点目を挙げた橋本。西が丘につめかけた多くの応援団も選手を後押しした

## あきらめなければ何かが起こる

悲願の関東大学1部リーグ制覇。『期待』は、昨年のチームより弱かった。しかし、深井、巻ら4年生にとって「今年こそ」の想いは昨年より強かった。深井が負傷の影響でベンチスタートとなった開幕戦は、東学大相手にまさかの黒星。「やはり今年はダメなのか」。だれもが、そんなことを思ったに違いない。しかし、第2節以降は持ち前の攻撃力が爆発し、破竹の勢いで勝ち点を積み重ねていった。そして2位で迎えた最終節の相手は首位・筑波大学。勝ち点差は『3』。つまり駒大は、勝つしかなかった。田中、橋本のゴールで前半に2点のリードを奪うと、その後は河合など4年生を中心としたディフェンスが体を張ってゴールを死守し、見事悲願の関東リーグ制覇を成し遂げた。「あきらめなければ何かが起こる」。秋田監督のこの言葉が、今季の駒大サッカー部の全てを物語っていた。

## 駒大個人表彰者一覧

- 深井正樹** 最優秀選手・得点王(12得点)・ベストイレブン・ベストヒーロー賞・4年間連続出場  
**巻誠一郎** 得点王(12得点)・ベストイレブン  
**橋本早十** ベストイレブン  
**中後雅喜** アシスト王(7アシスト)

## 第76回関東大学サッカーリーグ戦1部最終順位

チーム	勝	負	分	差	点
①駒澤大学	9	4	1	+26	28
②筑波大学	8	2	4	+11	28
③東京学芸大学	8	5	1	+6	25
④国士館大学	5	5	4	+7	19
⑤亜細亜大学	3	5	6	-10	15
⑥順天堂大学	4	7	3	-16	15
⑦慶應義塾大学	3	7	4	-11	13
⑧青山学院大学	3	8	3	-13	12